

# 施設めぐり

## 市内公的施設の紹介

多摩区

### 川崎市緑化センター

JR南武線宿河原駅から 徒歩7分

#### 川崎市唯一の都市緑化植物園

川崎市緑化センターは、神奈川県農業試験場東部園芸指導地として1936(昭和11)年に開設され、1949(昭和24)年に川崎市へ移管し、川崎市園芸技術普及農場として市内の農業技術の向上を担ってきました。フルーツパーク(現川崎市農業技術支援センター)に果樹栽培試験に関する業務を移管後、1979(昭和54)年に都市緑化推進を目的とした条例に基づいて「緑の相談所」の機能を持つ川崎市緑化センターとなりました。

園内は二ヶ領用水を挟んで東園と西園に分かれ、総面積13,000m<sup>2</sup>の緑豊かなスポットです。

#### 草花に触れ、親しみ、知識を得る



▲二ヶ領用水沿いの桜

園内は一年を通して草花の彩りにあふれています。西園には自宅の庭づくりの参考になるようなローズガーデン、ナチュラルガーデン、お子さまと過ごすのにぴったりな芝生広場などがあります。緑の吊橋でつながれた東園には、寒い冬も楽しめる温室、タネから育苗した花が並ぶフローラードがあります。時間はかかるけれども、その分生育がよく、花が咲いている期間が長くなるとのこと。今回は令和3年度に新たに開講した講習会「タネから育てる花壇作り」(全4回)の第3回「花壇の定植」で、受講生の皆さんと一緒に植え付けました。愛情がこもったフローラードは、この号が発行される頃にちょうど見頃を迎えます!

同園は、展示された植物を見るだけでなく、市内唯一の「緑の相談所」を開設していて、家庭の植木や花の育て方について、緑のコンシェルジュ(相談員)から専門的な知識を得ることができます。開園時間内に直接来園しての対面相談(予約不要)、電話での相談が可能です。



▲タネから育てる花壇作り

#### ヒスイカズラ (温室)

神秘的な翡翠色の花が美しいマメ科の植物。2月下旬から咲き始め4月頃まで鑑賞できるそうです。同園のマスコット「ヒスリン」の由来となつた花です。



▲(左)見事に咲いた花



(右)つぼみ



園内MAP

#### 緑をより身近に感じる!

同園の統括責任者である菊地所長は、「緑化センターのモットーはFeel Green。この意味は、老若男女を問わず、全世代の方達により広く緑を感じていただくことを目指した施設運営を行っていくことです。来年度は、多摩区だけではなく、より多くの皆さんに緑を感じていただくため、中原区、幸区、川崎区などの市南部地域へ出向いて人気のクリスマス飾りなどの講習会を開催したいです」と今後について話してくださいました。

講習会の企画や広報を担当している古川さんは、元々植物大好き人間。今後の目標を聞くと、「植物を飾ることや、育てることに対して、少しハードルが高いと感じる方がいるかと思います。もっと生活の一部に溶け込むような植物との関わり方を模索して、講習会等を通じて、皆さんと共有できたらいいと思います」と植物に寄り添う古川さんらしく話していました。

植物は生きているのでデリケートですが、日々成長する姿からは元気をもらいます。身近に手軽に緑を。この春、あなたもチャレンジしてみませんか。

▲講習会の様子  
(上)ハロウィーンを  
親子で楽しもう  
(下)お正月飾り

#### ■問合せ

#### 川崎市緑化センター

〒214-0021 多摩区宿河原6-14-1

開園時間: 春夏秋期(3月1日から10月末日)

午前9時から午後4時30分

冬季(11月1日から翌年2月末日)

午前9時から午後4時

ホームページ



休園日: 月曜日 ※月曜日が祝日の場合はその翌日

年末年始(12月29日から1月3日)

緑の相談: 電話 044-911-2177